

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成29年 1月24日更新

事務事業名	熊本都市圏協議会公共交通作業部会運営事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	政策部	課長名 大茂 竜二
	施策	4	公共交通の充実		所属課	企画課	担当者名 吉田 健悟
	施策の柱	12	公共交通の利便性の向上		所属班	企画広報班	(内線) 1254
予算科目	会計一般	款	項	目	事業連番	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 23 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	熊本都市圏協議会構成14団体に組織する公共交通に関する作業部会の事務局を運営する事業で、主に熊本都市圏ビジョンに掲げた基本戦略(熊本都市圏内外の人とものをつなぐ交通体系等の整備)に基づいた各種事業を実施している。事業計画としては、パークアンドライドの推進(啓発活動)、熊本市におけるバス路線網再編に関する協議及び地域公共交通に関する講演会を実施する予定である。
【業務の流れ】	年間事業計画の策定、部会開催通知、部会ごとの資料作成と送付、事業計画に基づく作業部会の実施(検討や調査)、講演会開催準備及び都市圏事務局との連絡・調整
【主な予算費目】	予算計上なし
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	平成27年度の事業としては、作業部会で事業検討及び各団体における地域公共交通や広域的な課題を整理し、パークアンドライドの推進のため啓発活動を実施、また、熊本市におけるバス路線網再編に関する協議及び地域公共交通に関する講演会を実施した。	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
		事業廃止 (H28年度から熊本都市圏協議会事業については、連携中枢都市圏構想の事業として引き継がれることとなる。)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
⇒		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	作業部会	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
		⇒
		⇒
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	円滑に運営する。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
		⇒
		⇒
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
協議会の円滑な運営を目的としているため、円滑な協議会開催ができなかった割合とした。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度実績(決算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	29年度予定	30年度見込	31年度見込	
① 活動指標	ア										
	イ										
② 対象指標	ア	団体	1	1	1	1	0	0	0	0	
	イ										
③ 成果指標	ア	%	0	0	0	0	0	0	0	0	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	2	2	3	0	0	0	0
		延べ業務時間	時間	260	60	100	240	0	0	0	0
(B) 人件費計	千円	1,035	239	398	891	0	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,035	239	398	891	0	0	0	0		

事務事業名	熊本都市圏協議会公共交通作業部会運営事業	所属部	政策部	所属課	企画課
-------	----------------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②28年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 事業廃止 (H28年度から熊本都市圏協議会事業については、連携中枢都市圏構想の事業として引き継がれることとなる。)
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 部会の運営を円滑に行うための事業であるので、向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 都市圏市町村が公共交通に関して一堂に会する場合はこの作業部会の他にはない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 人件費以外の事業費は発生しない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 作業部会の開催に係る必要最低限の人員 (時間) である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 都市圏住民がすべて事業対象となっている。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 各自治体で実施している公共交通事業の調整や検討を行う場であるため、民間団体による実施はできない。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

構成団体と連携し円滑に部会を運営できた。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						